

関係各位

JPA技術委員会
委員長 二宮 正晴

ルール変更等に関する通達

今回の通達に関する運用に関して、ご理解いただき周知徹底をお願い致します。
なお、この通達は2019年4月1日より適用します。

1 個人用具に関して

- (1) デッドリフトの試技ではTシャツを必ず着用しなければならない。
- (2) 国際大会・国内大会ともに一般的なボクサーブリーフの着用を認める。ただし、シングレットやリフティングスーツから見えるものは着用不可。
- (3) 競技用シューズは、インドアスポーツシューズであること。明確にその判断が付きにくいシューズの使用可否については、大会主催者または技術委員会の判断とする。
- (4) 地方大会でのベルトは全国規模・ブロック大会と同様に、JPAで決められたベルトを使用すること。厚さが均等でないもの、ループが2つのベルトは使用不可。ビギナーへの競技普及を目的とする場合は主管協会の裁量に委ねるが、規定ベルトを使用するよう指導すること。また認可されていないメーカーロゴはガムテープなどで隠すこと。
- (5) 地方大会のみ主管協会の裁量によりショートスパッツを認める。ただし、膝頭が見える長さまでとする。

2 試合進行に関わるルールに関して

- (1) フォーミュラについてウィルクス係数を廃止し、「IPFポイント」を適用する。
2019年6月1日以降に開催される全国規模大会またはブロック大会からは、IPFポイントを用いたフォーミュラを適用する。大阪5種全日本大会から導入予定。
ただし、地方大会においては、ウィルクス係数またはIPFポイントを用いるかは、大会主催者の裁量に任せ、2019年内は猶予期間とする。
- (2) GOODLIFT システムのNextLifterは、年初に技術委員会が最新版を配布するため、改変を禁ずる。
- (3) 種目間のインターバルは10分を推奨する。運営上無理な場合は、主管協会の裁量に任せる。
尚、1セッション1グループでのインターバルは従来通り20分とする。
- (4) バーやプラットフォームの清掃を指示する権限を、テクニカルコントローラーにも与える。コーチ又はリフターが清掃を依頼する際は、補助員、副審ではなく、主審またはテクニカルコントローラーに依頼する。
- (5) 競技会において2人のリフターが日本記録挑戦のため2.5kgの倍数ではない同重量をそれぞれ申請し、ロット番号順による最初のリフターが成功した場合は、次の選手は試技重量を自動的に0.5kg加算される。
- (6) 国内大会においては、14才に満たない選手でも選手登録の上、公認大会の参加を認める。記録は公認記録とし、日本記録も認められる。
- (7) 大会前日の予備検量について、メインホテルを指定できない場合は、前日に大会会場に設置して予備検量できることとする。
- (8) 日本記録認定については、タイトルごとの記録認定とする。ノーギア大会でフルギアの日本記録を超えたとしても、フルギアの日本記録更新はされないものとする。

以上

【問い合わせ先】

公益社団法人 日本パワーリフティング協会
技術委員会

〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋字新町 98-15-205

電話：0794-43-2000

E-mail: jpa.gijyutu@gmail.com